

# 長畝ふるさと通信

【2013年6月号】

## ■ 田植え以降、ほとんど一ヶ月間雨が降りませんでした

今年は梅雨入りが早いと報道されていましたが、佐渡の梅雨入りは6月18日でした。田植えからほとんどまとまった雨が降りません。毎日毎朝田んぼを見回って水管理をしますが、「我田引水」のとおりに「水戦争」が勃発しそうです。ダムの水も底を尽きそうになっており今後が心配です。

しかしながら今のところ苗の生育は順調で、草丈・茎数ともに佐渡の指標を上回っています。これでまとまった雨が降ってくれば良いのですが…



## ■ 太陽サンサンの中、田んぼ仕事は目一杯！

6月は草刈り、溝切り、そして昨年から取り組み始めたトマトの養液栽培の準備と大忙しです。畦草は気温の上昇で一気に草丈が伸び、刈り払い機を使って力で草をなぎ倒す勢いで刈っていきます。半日も続けると手がしびれ握力も無くなるほどです。



中干し後、速やかに田んぼ中に水を回したり、排水を容易にするために溝を切っていきます。昨年購入した乗用溝切り機は田んぼの中をバイクの如く走り、スピーディーに溝を切っていきます。とはいえ炎天下の田んぼは照り返しが強く、顔が日焼けしてヒリヒリと痛くなります。

極めつけは40度を超えるビニールハウス中でのトマト栽培。土の入ったコンテナを2棟のハウスに900個並べ、トマトを誘引するネットを張り巡らせるのに東京農大の実習に来てくれた学生達もバテバテでした。特に午後は1時間とハウスの中に入られないほど。6月17日には組合員のみなさんにも協力しても





らい、無事900本のトマト苗を定植しました。昨年は夏の猛暑でハウス内の気温が50度にもなり、交配用に購入したマルハナハチも全滅、受粉もままならず、木が枯れてしまうほどでした。今年はあらかじめハウスの天井に遮光ネットを張り巡らせ、換気対策も施しました。8月上旬には収穫が始まり、稲刈りが終了する10月中旬頃まで出荷していく予定です。体が持つかしら…

### ■ トキ認証米は「生きもの調査」が必須です

トキ認証米は6月第2週と8月第1週日曜日の「全島一斉生きもの調査の日」に自分の田んぼの生きもの調査をしなければなりません。6月は田んぼの中にある生きものや畦・ビオトープ周辺にある生きもの調査です。地域の子供達にも呼び掛け、親子3代で参加する人達も。昨年認定された「サドカエル」を見つけることはできませんでしたが、27種の生きものを確認しました。子供達の関心を引いたのは意外にもオタマジャクシやトンボではなく、…カメでした。



### ■ めだかの学校「草取りツアー」

今年で6年目を迎えたNPOめだかの学校の草取りツアー。東京・栃木・新潟などから50人近い参加がありました。例年6月上旬なら雑草が結構伸びている無農薬田んぼも、今年は5月の低温の影響か草があまり生えておらず期待はずれ？の感がありましたが、毎年参加されるみなさんには頭が下がります。年々お米の値段が安くなり、スーパーでは安ければ何でも良いとされる風潮が広がっていますが、そんな中、多少高くても安心して食べられるお米を買ってくれて、わざわざ佐渡まで雑草取りにまで来てくれるみなさん、本当に感謝です。



### ■ 25年産米も宜しく願いたします。

7月には25年産米の年間予約のご案内をさせていただきます。引き続きご愛顧の程、宜しく願い申し上げます。